

1) システムの名称：

MegaOak/iS (メガオーク アイエス) 電子カルテパック

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

1. 電子カルテ・所見記述系

3) 特色：

【MegaOak/iS のコンセプトと特長】

●医療従事者の目線に寄り添い、思いを伝えるシステム

医療従事者の皆様が本来行うべき医療行為に集中して取り組めるよう、医療情報システムを医療従事者の目線で考えたパッケージを目指しております。データの種類やシステムの構造ありきではなく、診療行為のフローや医療従事者の考える記録の種類、職制・職種ごとの記録の見方など、『医療従事者の目線』で考えられて作っています。

【MegaOak/iS の特長詳細】

●医師がオーダーを意識せずに指示を登録できるしくみ

日付の整合や関連する指示の入力をシステムでサポートすることで、医師の思考に沿った効率の良い指示入力を実現します。また、患者の容体等によって頻繁に変更が発生する医療現場の業務を鑑み、入力時だけでなく変更時の操作においても煩雑な操作が発生しないよう工夫しています。

例) 検査オーダーを出すとき、関係する食事や処方指示がある場合には、ポップアップ表示を行い、入力を促します。

●業務目線での記録管理で情報の見落としを防止

電子カルテ内にある診療記録、文書、検査結果などを、記録の種類ごとに一元管理することで、必要な情報を探し出すことが容易になります。

例) システムで記載した同意書、手書きでスキヤニングして取り込んだ同意書、を同じカテゴリ(記録の種類)ごとに管理することができます。

●指示者の意図を正しく伝え、医療安全に寄与

指示者(医師)の考える単位での指示入力を実現することで、指示者の意図を現場まで正確に伝えることができます。

例) 処方指示を出す際、ずっと続けて飲ませる薬なのか、患者の症状をみて継続検討する薬なのか、飲み切ったら止める薬なのか、を指示し、現場に伝えることができます。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

●MegaOak/iS 基本画面



●機能一覧

基本機能	
プロフィール ●1号用紙 ●プロブレム ●各科受付 ●入院患者一覧 ●出稼管理 ●患者プロフィール ●サマライズノート ●救急患者一覧 ●ベッドマップ ●見舞書案内 ●鑑別名 ●外来患者一覧 ●中央処置室一覧 ●病棟管理 ●チーム医療患者一覧	看護支援 ●看護プロフィール ●ワーシット ●フロアシート(備付) ●看護サマリ ●看護計画 ●申し送り ●実施入力 ●看護日記 ●看護必要度 ●看護ケア ●指示受け ●看護記録 ●看護必要度 共通 ●ヒストリーマップ ●カンファレンス記録 ●クリニカルデスクトップ ●モニタリングシート ●ワークアシスタント ●付箋 ●代行承認 ●クリニカルバス ●全文検索
診療記事入力 ●2号用紙 ●診療ナビゲーション ●即時記録 ●定型文書	オーダーリング機能 ●予約 ●処方 ●調剤 ●リハビリテーション ●コンサルテーション ●食事 ●条件付指示 ●指示簿 ●処方 ●生理 ●入院歴 ●病棟 ●透析依頼 ●栄養指導依頼 ●手術 ●輸血 ●Doナビゲーション ●注射 ●心臓検査 ●内視鏡 ●検査 ●入院歴 ●一敷指示-検査 ●栄養指導依頼 ●薬剤管理指導 ●Doナビゲーション ●持参薬管理
オプション ●地域連携 ●全業マスタ ●ベッドサイド閲覧 ●電子認証 ●DWH	

●代表機能



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

(1) マスタ/コード体系

- MEDIS-DC 標準病名マスタ (ICD10) (標準で対応)
- MEDIS-DC 看護実践用語標準マスタ (看護行為編、看護観察編) (標準で対応)
- MEDIS-DC 標準医薬品マスタ (HOT 番号) (有償で対応)
- MEDIS-DC 標準手術・処置マスタ (ICD9CM) (標準で対応)
- 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード (JLAC10) (標準で対応)
- JJ1017 画像検査コード Ver3 (対応表にて対応)
- NEC 製マスタ (各種オーダーマスタ) (標準でサンプルを提供)

(2) データ交換規約

- HL7 (Ver2.5) / 患者情報系・受付・入院系・外出泊系・転科転棟系・退院系・アレルギー (ADT)、病名 (PPR)、食事 (OMD)、薬剤オーダー系 (OMP)、検査オーダー系 (OMG)

(3) データ交換手法

- TCP/IP ソケットを中心に対応

(5) 標準化未対応の場合、対応可否および追加費用の有無を記載

本項記載以外の標準化について：追加対応 可、追加費用 有

(6) 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合への適合事例

「厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合への適合事例 あり」

- ・ HS001 医薬品 HOT コードマスター
- ・ HS005 ICD10 対応標準病名マスター
- ・ HS014 臨床検査マスター
- ・ HS017 HIS、RIS、PACS、モダリティ間予約、会計、照射録情報連携 指針 (JJ1017 指針)
- ・ HS024 看護実践用語標準マスター

■ SS-MIX ストレージ利用範囲：地域連携

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合)：

- サーバ Microsoft® Windows Server® 2012 R2
- クライアント Microsoft® Windows® 8.1

7) 稼働までに必要な作業・期間：

運用設計、機能設計、システムセットアップ、操作訓練、システムテストを実施し、稼働までに必要な期間は 10 ヶ月から

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い)：

パッケージソフトウェア価格：8 桁，SE 費用：9 桁，ハードウェア費用：8~9 桁

9) 保守の内容と費用：

● 保守内容

製品の使用に関する問い合わせ対応、情報提供、バグ修正対応、診療報酬改定対応、その他制度改定対応
※別途ハードウェア保守、運用支援サービス有り

● 料金 (参考価格)

システム規模、保守内容によるため、要問い合わせ

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば)：

問合せ先：日本電気株式会社 医療ソリューション事業部

www.megaok.com

〒108-8001 東京都港区芝 5 丁目 7 番 1 号 (NEC 本社ビル)

TEL：(03) 3798-6756 FAX：(03) 3798-6826

www.megaok.com のお問合せメニューからお願いいたします